

Title	スマートシティ + 慶應義塾のDCP
Sub Title	
Author	小久保, 智淳(Kokubo, Masatoshi) 早坂, 若子 久木田, 信哉 本田, 新九郎 近藤, 宏二 牧野, 司
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」事務局
Publication year	2023
Jtitle	超成熟社会発展のための政策提言書 (2022.) ,p.[1]- [16]
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2021年度発表者 社会課題解決プロジェクト01
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005001-00002022-0132

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度発表者

社会課題解決プロジェクト

01

スマートシティ+慶應義塾の DCP

慶應義塾大学大学院 法学研究科 博士課程

小久保 智淳

慶應義塾大学大学院 文学研究科 博士課程

早坂 若子

メンター

日本電気株式会社 政策渉外部グローバル渉外室 主席主幹

久木田 信哉

西日本電信電話株式会社 ビジネスデザイン部 テックデザイン部門 部門長

本田 新九郎

鹿島建設株式会社 技術研究所 プリンシパル・リサーチャー

近藤 宏二

NPO 法人 CeFIL 客員研究員 元株式会社東京海上研究所

牧野 司

0. 本日の内容

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

⇒ 澤藤課長（日吉）、鹿島建設 三浦様、日吉フィールドワーク

2. 東急「サステナブル田園都市研究会」とのコラボ

⇒ 東急総合研究所 太田雅文主席研究員

3. 事例 ～フューチャーデザインワークショップ～

⇒ WS開催

4. まとめ・今後の展望

赤字：インタビュー 青字：その他活動

2

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

災害時における慶應義塾大学の機能の継続のみならず、地域のレジリエンスに寄与するため、慶應義塾と地域の協力によってDCP(District Continuity Plan)を構築することを目指す。

慶應義塾と地域の協生によるリソースシフト型DCP

□ 地域と大学の連携

コロナ禍で特に組織間連携の重要性が顕在化
義塾も地域連携目指している

□ 地域と分かちがたい慶應義塾

・慶應の日吉キャンパスは、大正末期、
東急電鉄から無償でいただいた土地に建設



□ リソースの宝庫：慶應義塾とその周辺



慶應義塾の一次的機能：教育、研究

+ 塾のインフラ：医療施設、商業、教室、wifi、etc....

リソースシフト：

日吉エリアにあるリソースの数々を、
災害時には別の用途で用いる仕組みを
事前に構築することで、地域のレジリエンスを高める。

3

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

慶應義塾と地域の協生によるリソースシフト型DCPの背景

・ 綱島SST

・ 相鉄乗り入れ開始

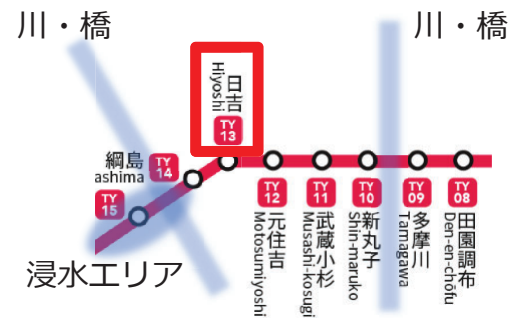
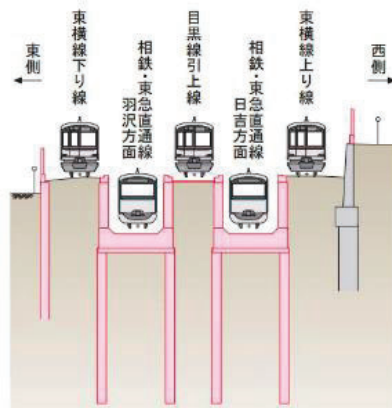
・ 地理的特徴



慶應の日吉国際学生寮も参加

→ 日吉駅利用者増

→ 陸の孤島になる可能性が高い



4

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ インタビュー及び調査

1. 慶應義塾大学日吉キャンパス 澤藤課長へのインタビュー
2. 鹿島建設 三浦様へのインタビュー
3. 東日本大震災の際のITC活動報告

5

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

1. 慶應義塾大学日吉キャンパス 澤藤課長へのインタビュー

- 災害対策
 - 日吉は広域避難場所指定（1,2時間滞在想定）
 - 実際には、**矢上川氾濫の時は、多くの住民が避難してきた**
 - 記念館は横浜市と契約し、帰宅困難者受け入れ（1日分の物資も横浜市から）
 - **日吉のメンバーのみでは対応しきれないが、キャンパス間連携はない**
- 日吉キャンパスと地域とのかかわり
 - そもそも慶應のコンセプト「**ひらかれた義塾**」
 - 地域からなにかしてもらうことはなく、むしろ義塾が地域に提供している
 - 日吉の自治会との関係はつよくない（トラブルがあったときのみ）
- エリアマネジメント関連
 - **SST、東急、野村不動産**とそれぞれ会合は行われている

6

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

2. 鹿島建設 三浦様へのインタビュー

- **協生館**について
 - 慶應義塾創立 150年記念事業の一環で建設
 - 都市機能の向上と周辺環境に配慮した施設整備
 - 綱島街道に面するキャンパス西側を中心としたエリアを再編，整備
 - 協生館内には地域の方々も利用でき、**交流を促進するような施設**
 - **非常電源有り**

3. 東日本大震災の際のITC活動報告

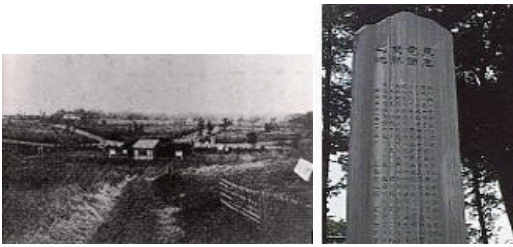
- 震災直後から計画停電が実施された期間、ITCは何をしたか、何が機能し、何は機能しなかったか、そして、こうした災害への対策として、その後どのような対策を講じているかについて報告
- ITCについては、**キャンパス間連携の可能性はある**ことが判明した（インタビューを予定も、コロナ流行により断念）

7

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ アンカーの決定

- 東急と慶應の関係
- 慶應と東急との関係の深さ（前述）
- 澤藤課長は現在も東急側と一定間隔でお茶会を開催
→アンカーは**東急電鉄**に決定



https://www.keio.ac.jp/ja/contents/stained_glass/1996/201.html

同級生や地域、部活から集金
創立150年寄付金総合ランキング

順位	団体名	寄付金額(万円)	種別	会員数(人)
1	慶應連合三田会	13,000	連合三田会	-
2	1957年(昭和32年)三田会	5,602	●年度	1,860
3	1984年(昭和59年)125年三田会	4,471	●年度	5,000
4	1985年(昭和60年)126年三田会	4,027	●年度	5,727
5	1983年(昭和58年)124年三田会	3,609	●年度	5,000
6	三田空手会	3,575	●体育会	650
7	1982年(昭和57年)123年三田会	3,566	●年度	-
8	三田バレーボールクラブ	3,378	●体育会	420
9	名古屋三田会	3,126	●地域・国内	1,207
10	岐阜三田会	2,256	●地域・国内	550
11	1980年(昭和55年)121年三田会	2,225	●年度	5,300
12	1981年(昭和56年)122年三田会	2,159	●年度	5,000
13	三田柔友会	2,137	●体育会	800
14	三田体育会	2,000	●体育会	22,131
15	重量拳三田会	1,818	●体育会	246
16	東急三田会	1,799	●企業	500
17	理工学部体育会ラグビー部OB会	1,656	●諸会	-
18	富山県三田会	1,567	●地域・国内	1,000
19	1971年(昭和46年)112年三田会	1,500	●年度	5,602
20	三田射撃倶楽部	1,490	●体育会	270

<https://diamond.jp/articles/-/91785>

8

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ ターゲットとする課題の特定

- ターミナル駅としての日吉？
- 相鉄・東急直通線
→慶應の3キャンパスを接続。利用者の増加が見込まれる
- 特に日吉駅はこの接続により一種のターミナル駅に
- 記念館における帰宅困難者受け入れ
- 横浜市と帰宅困難者の受け入れについて提携を結んでいる模様
- しかし、従来の想定よりも数が膨れ上がる危険性が高い
→災害時の**帰宅困難者問題**をターゲットとしたDCPを想定する

番号	所在区	施設名	駅
155	港北	新田地区センター	新羽駅
156	港北	港北公会堂	大倉山駅
157	港北	綱島温泉 湯けむりの庄	綱島駅
158	港北	綱島地区センター	綱島駅
159	港北	日吉地区センター	日吉駅
160	港北	慶應義塾大学 日吉キャンパス	日吉駅
161	港北	日吉湯	日吉本町駅

帰宅困難者一時滞在施設一覧より



日吉駅ホームから綱島方面

9

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ リソースの調査（フィールドワーク）：①東急編

- ・線路上の土地をドローン輸送網の空路として確保できないか？
- ・東急の電気供給網を活用できないか？
- ・東急アベニューにある資源を活用できないか？
- ・通信設備を活用できないか？



元住吉変電所



日吉東急アベニュー



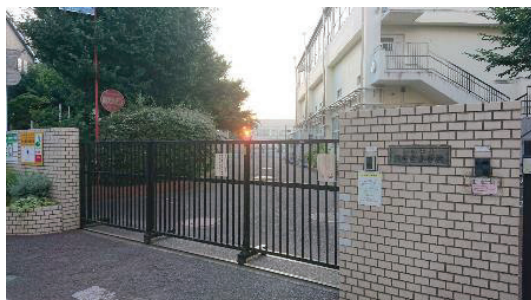
豊富そうな食料品

<https://www.tokyu.co.jp/life/list/Pid=75.html> <https://www.tokyu-dept.co.jp/hiyoshi/floor/1f.html> 10

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ リソースの調査（フィールドワーク）：②日吉商店街編

- ・調理師免許を持った人材
- ・商店街の有する食料
- 矢上キャンパスのように日頃からフードトラックをキャンパスに派遣してもらい
 非常時にはそのまま帰宅困難者や塾生に食料を供給してもらえないか
- ・地域の避難所である小学校との連携



1. 「スマートシティ+慶應義塾のDCP」

■ リソースの調査（フィールドワーク）：③慶應日吉キャンパス編

- ・ **建物**；保健センター、食堂、協生館（ディーゼル発電機、シャワー有）
グラウンド、生協売店



12

1. 「スマートシティ+慶應義塾のDCP」

■ リソースの調査（フィールドワーク）：③慶應日吉キャンパス編

- ・ **設備**；トイレ、電源、WiFi、PC、
- ・ **資源**；飲料水、食料、燃料（電源用・炊事用）、水
- ・ **人員**；医療スタッフ、警備員、スタッフ、学生



警備員さん



ひよ池



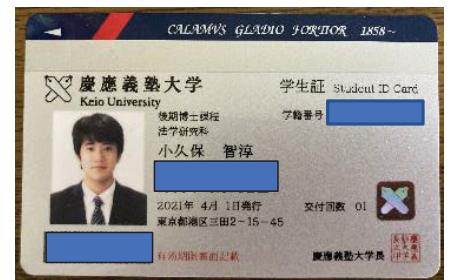
防火水槽

13

1. 「スマートシティ + 慶應義塾のDCP」

■ リソースの調査（サーベイ）：データ活用編

- 对学生
 - ・ 2021年入学者より学生証はICチップ内臓型へ
ワクチン接種の管理もこれで行っている
 - ・ 当該学生証を使用することで、緊急時の情報の管理が可能に
ex)医療情報の参照、生存確認、キャンパス内の所在確認等
 - ・ 学生の個人情報、健康診断のデータは学生部が把握・管理
→事前に定めることで連携を行えないか
- 一般人の帰宅困難者
 - ・ 交通系ICカードは所持しているはず
 - ・ 身元の確認、データの活用に使用できないか？
- その他
 - ・ マイナンバー等を活用し、医療情報や連絡先の把握ができないか
 - ・ プライバシーやセキュリティの観点も含めて要検討



My Suica (記名式)



Suicaカード

<https://www.jreast.co.jp/suica/howtoget/>

14

2. 東急「サステナブル田園都市研究会」とのコラボ

- アンカーとしての東急に「サステナブル田園都市構想」が存在
 - ・ 藤沢栄一の田園都市構想 + SDGs
 - ・ 新綱島を中心とするエリアについても言及あり
- 加えて、東急主催で「サステナブル田園都市研究会」が発足していた。
- 研究会主催の東急総合研究所の太田雅文主席研究員にインタビューを実施
→研究会に参加させてもらい、DCPの可能性を模索することに

15

2. 東急「サステナブル田園都市研究会」とのコラボ

リソースシフト型のDCPを議論する上での課題

1. 「まちづくり」、「日吉」、「防災」といった概念に固着し、柔軟な発想が出来ないでいた
2. DCP関係で東急研究所にインタビューしたことをきっかけに、サステナブル田園都市研究会とコラボすることになった。

「まちづくり」の専門家と共にアイデアを深めるとき、どのような手法を用いたらよいだろうか、、、??



16

2. 東急「サステナブル田園都市研究会」とのコラボ

- Future Design WorkshopにSF的な要素を加えることで現実からの制約をなくし、より柔軟な発想を引き出すワークショップ。
- 舞台を遠い未来や宇宙などに設定し、今はまだ実現していないテクノロジーも取り入れて、新たなアイデアを考える。

- ⇒
- SFストーリー仕立てになっているので突拍子もない課題についても議論しやすく、初対面の人が柔軟な発想で議論するためには非常に適したメソッド
 - コミュニケーションツールとして有効
(専門家—非専門家、学生—社会人)

採用

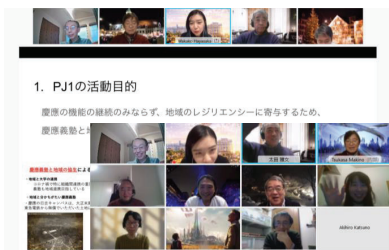
17

3. 事例 : Sci-Fi Future Design Workshop Greater HIYOSHI 2050

PJ1 としての Sci-Fi Future Design Workshopの実績

本で紹介

1. 2021年12月 : リーディングゼミ内でのプレワークショップ
2. 2022年1月 : 東急&慶應 -2050年の「Greater 日吉」の姿を考える-
3. 2022年1月30日 東京財団「フューチャー・デザイン2022」での成果発表



リーディングゼミ内でのプレWSの様子



東急&慶應WS
-2050年の「Greater 日吉」の姿を考える-



東京財団「フューチャー・デザイン2022」

参考 : 昨年度までにSci-Fi Future Design Workshopの実績

1. 2020年6月: 東京大学リーディング博士課程教育プログラム
2. 2020年7月: NRI-KEIO Innovation Interaction Meetup
3. 2020年10月: 市川市 いちかわ未来創造会議 Sci-Fi FD Workshop
4. 2020年11月: 慶應大学 三田祭 Sci-Fi FD Workshop

3. 事例 : Sci-Fi Future Design Workshop Greater HIYOSHI 2050

@東急「サステナブル田園都市研究会」

■ ワークショップの目的

- ・ 専門家—非専門家、学生—社会人の垣根を超えて、「将来のGreater日吉」の姿を共に楽しく議論する機会を設ける
- ・ 今後のプロジェクトに生かすことのできる柔軟なアイデアを得る



慶應義塾大学日吉キャンパス : 1934年開設

3. 事例 : Sci-Fi Future Design Workshop Greater HIYOSHI 2050

- 開催日時 : 2022年1月21日 (金)
- 場所 : Zoom
- 時間 : 90分
- 参加者 56名 (電鉄会社、企業、大学、行政、NPO、慶應PLGS他)



電鉄	大学	行政	建設	企業	NPO・団体
(株)東急総合研究所	慶應義塾大学リーディング	横浜市旭区	(株)東急設計コンサルタントまちづくり室	(株)三菱総合研究所地域DX事業部	NPO・DT08
東急(株)沿線開発事業部	東京都市大学都市生活学部	横浜市港北区役所区政推進課	(株)日建設計シビル開発部門	ボストンコンサルティンググループ	かわさき脱炭素まちづくり連絡会
東急(株)社長室ESG推進グループ	東京都市大学都市生活学部	大田区鉄道・都市づくり部	東急建設(株)デジタルインベーション部	(有)エム・スリー・ピーファクトリー	自由が丘商店街振興組合
東急電鉄(株)車両部	同志社大学政策学部	目黒区都市計画課	東急建設(株)土木事業本部	(株)3丁目カフェ	
京浜急行電鉄(株)生活事業創造本部				(株)サスティス・二子玉川学会	
小田急電鉄(株)CSR・広報部				イツ・コミュニケーションズ(株)	
小田急電鉄(株)小田急総合研究所				グーグル・クラウド・ジャパン	
				渋谷スクブルスクエア	

20

3. 事例 : Sci-Fi Future Design Workshop Greater HIYOSHI 2050

●ワーク1

2050年の「Greater 日吉」の姿とは、、、??

ランダムに現れるキーワードを組み合わせ、そのキーワードを使って2050年のGreater日吉の姿についてアイデアを出せ!!

- ・イントロダクション
- ・ワーク1 (ブレイクアウトルーム) 4グループ
- ・ワーク2 (ブレイクアウトルーム) 4グループ
- ・ディスカッション、まとめ



k1 ~な2050年の日吉の					
A	B	C	D	E	F
~な2050年の日吉の	~では	~を高めるために	~が用いられ	このような姿になっている	2070年世代 (グループB) コメント
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

クリックでシナリオ作成

ここにアイデアを記入

21

3. 事例 : Sci-Fi Future Design Workshop Greater HIYOSHI 2050

●ワーク2

ワーク1のアイデアに対して、**2070年から来たという想定**の仮想将来世代としてコメントする。

コメントは、2050年のアイデアに対する付加価値となるように。
ワーク1同様、アイデアはメンバー全員で議論し、一つ考え記入する。

- ・イントロダクション
- ・ワーク1（ブレイクアウトルーム）4グループ
- ・ワーク2（ブレイクアウトルーム）4グループ
- ・ディスカッション、まとめ

【前提となるシナリオ】

Greater日吉エリアは2060年
首都直下型地震に見舞われ、
津波の被害も経験した。

1	~な2050年の日吉の	~では	~を高めるために	~が用いられ	このような姿になっている	2070年世代（グループB）コメント
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

22

3. 事例 : ワークショップ中に出てきたアイデア

与えられた課題				Work 1	Work 2	
1	~な2050年の日吉の	~では	~を高めるために	~が用いられ	このような姿になっている	2070年世代（グループC）コメント
4	衰退した	道路	芸術性	ゲノム編集	道路の周りでゲノム編集された動物が、アートを作ってる。蟻塚ア-とか、ゲノム編集で、蝶の模様がアートに。	災害が来たら巨大化した蝶に乗って逃げる
5	ディストピアな	水族館	循環型社会	合成食糧	合成食料を餌にするので、餌不要？水族館にいる動物を食べちゃう！？水族館にいる生き物が食べられて、釣り堀？そして循環する。	水族館自体を巨大なシェルター化して、ノアの箱舟にする
6	ユートピアな	運動施設	安全性	都市ロープウェイ	日吉のグラウンドまで都市ロープウェイでつながる。避難する道にもそれが早変わりする。お家からDoor to Doorで運動施設へ	災害で都市ロープウェイの価値が見直され、都市ロープウェイネットワークができています
7	退屈な	水族館	幸福度	NFT	魚にNFTをつけて、大谷翔平の育てた魚の子孫、とかわかるように。	珍しい魚にNFTをつけて売買し、海洋汚染対策の基金にする
8	エキサイティングな	公園	脱炭素	クローン技術	美味しい果物がクローン技術で食べれるようになる。地産地消にもなる。	1日で育てられて災害時に食べられる果物ができている
9	衰退した	宗教施設	インバウンド	ドローン	神社お寺ドローンツアー（八咫鳥に乗れる）	みんなドローンに乗って生活するようになる
10	パンデミックな	学生寮	脱炭素	ドローン	バルコニーでお鍋出していると、ドローンがそこに食べ物を落とすしていく。トラックいらずで脱炭素。	災害が来ても鍋パーティーができる。もっと大きなものも運べる
11	セクシーな	学生寮	ダイバーシティ	BMI	色々な属性の人の気持ちになったり、いろんな感覚が楽しめる。なんなら動物の気持ちも楽しめる。男性と女性も入れ替わる。	被災者の悲しい気持ちもBMIで共有できるようになり、みんな他人にやさしくなった。LGBTの人も生きやすくなる
12	パンデミックな	教育施設	幸福度	都市ロープウェイ	学校間交流をロープウェイで繋ぐ。	災害観光の拠点になる

出てきたアイデア

23

3. 事例：ワークショップ中に出てきたアイデア（抜粋）

繁栄した 2050年のGreater日吉の **宗教施設** では **ウェルネス** を高めるために **脳と脳の結合** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

瞑想（マインドフルネス）中のお坊さんの脳と繋がって、悟りの境地を理解。



2070年代世代からのコメント

災害時でも皆落ち着いて行動ができた

退屈 2050年のGreater日吉の **水族館** では **幸福度** を高めるために **NFT** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

魚にNFTをつけて、大谷翔平の育てた魚の子孫、とかがわかるように。

2070年代世代からのコメント

珍しい魚にNFTをつけて売買し、海洋汚染対策の基金にしています。

24

3. 事例：ワークショップ中に出てきたアイデア（抜粋）

汚い 2050年のGreater日吉の **福祉施設** では **芸術性** を高めるために **3Dプリンター** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

古くなった福祉施設が3Dプリンターによってリノベされ、汚さが浄化される



2070年代世代からのコメント

**建物の再生が早くて、災害復興で助かりました。 /
職人がいなくなってしまって復旧ができなくなってしまった。 / 町が画一的になってしまった。**

ワイルドな 2050年のGreater日吉の **公園** では **生物多様性** を高めるために **クローン技術** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

動物公園になっている。絶滅した種が復元されている。リアルジュラシック日吉パーク。

2070年代世代からのコメント

**地震によって恐竜たちが逃げ出し、日本列島がリアルジュラシックパークになった。
その後、恐竜たちは宇宙人の攻撃から日本を守ってくれた**

25

3. 事例：ワークショップ中に出てきたアイデア（抜粋）

危険な 2050年のGreater日吉の **タワマン** では **利便性** を高めるために **人型ロボット** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

大規模修繕を人型ロボットが行う

2070年代世代からのコメント

解体する損傷度でも人型ロボットが修繕してくれる。廃棄物を少なくするため。
危険な場所での作業可能。エレベーター止まっても人型ロボットがお使いに行く。

ユートピア 2050年のGreater日吉の **運動施設** では **安全性** を高めるために **都市ロープウェイ** が用いられ

このような姿になっている（2050年代世代）

日吉のグラウンドまで都市ロープウェイでつながる。避難する道にもそれが早変わりする。
お家からDoor to Doorで運動施設へ

2070年代世代からのコメント

災害で都市ロープウェイの価値が見直され、都市ロープウェイネットワークができている



26

3. 事例：実施結果まとめ

総参加者数	56名	
満足度（10段階）	8.0	10に近いほど満足
出されたアイデア数	95個	31.2秒ごとに1つの新しいアイデア

WSでのアイデア数

グループ	2050年の姿	2070年代世代からのコメント	合計
A	11	12	23
B	17	10	27
C	10	10	20
D	14	11	25
計	52	43	95

27

3. 事例：参加者の声（事後アンケートより）

■ 未来人になった感想

- アイデア出しに有効な手法を面白く体験しました。新たな発想の場としても良いと感じます。
- 戸惑いながらも思考を切り替えてできたかとは思っています。とは言え現在の思考から抜けきれない自分も感じました。

■ グループワークの感想

- 普段使わない脳みそを使うワークで大変刺激を受けました
- その人の価値観や考え方などを柔らかく知る場として、面白いと思います。
- 直観力を呼び戻すトレーニングになると感じた。
- ポジティブ発想の必要性、多様性、価値観などの既成概念の撤廃が必要と感じました。

■ 手法を使ってどのような分野、課題をディスカッションしたいか

- 新規事業関連のアイデア出し
- 意見の出にくい会議、協議会で試してみたいと思います。
- 現在のビジネス上の課題など様々な分野の議論ができるのではないかと思います。

28

Future Design 2022 東京財団主催

持続可能な社会のしくみをフューチャー・デザインする

Zoom開催
1月29日10:30~
1月30日 9:30~

ウィズコロナ/ポストコロナの
フューチャー・デザイン

主催 | 東京財団政策研究所 高知工科大学 日本学術会議
共催 | 総合地球環境学研究所 一般社団法人フューチャー・デザイン 一般社団法人しあわせ推進会議
後援 | 公益社団法人経済同友会 土佐経済同友会

参加申込は
こちらから
https://www.futuredesign.com/

プログラムより抜粋

15:40~15:45 休憩

15:45~16:10 「2050年時点で2.4°C上昇した日本社会において、企業はどのような価値創造（価値提供）をしているか？」

鈴木 未生 (NPO法人ER.)

16:10~16:35 「Fantasy Future Design Workshop HIYOSHI 2050~2050年の日々 (および綱島) の姿を考える～」

牧野 司 (慶應義塾大学博士課程教育リーディングプログラム「超成熟社会発展のサイエンス」)

16:35~17:00 「フューチャー・デザイン・タウン矢巾の実践 (仮)」

高橋 雅明 (矢巾町企画財政課)

17:00~17:05 閉会のあいさつ

西村 直子 (日本学術会議連携会員・立命館大学)

29

4. まとめ・今後の展望

- 地域密着型の日吉キャンパスでは、慶應大学だけでBCP、DCPを構想しても、リソースの不足や想定外の自体が発生することがわかった。
- そのため、地域のアンカーとなりうる東急と連携してDCPを策定することが、Planの実効性担保のためには重要ではないか。
- サステナブル田園都市研究会と協働して、綱島SSTを含めた日吉地域全体を対象を含めたDCPの研究を実施したい。
- そこでは、地域の理想像を描き、それを読み込んだDCPを策定することで、地域の持続的な発展とリスクマネジメントを両立させることが重要ではないか。³⁰